

令和5年度当初予算案 主要事業取材×7

令和5年2月

 葛飾区



目次

令和5年度予算編成にあたってのポイント	3
主な増減額（対前年度予算比）	3
令和5年度葛飾区当初予算案	4
令和5年度一般会計歳入歳出予算款別表	5
当初予算案の主な項目	6
【1】子育て支援・教育の充実	8
【2】健康づくり・福祉	19
【3】災害対策	26
【4】産業・観光	28
【5】環境・まちづくり	34
【6】DX・総合庁舎	39

令和5年度予算編成にあたってのポイント

- 特別区交付金、特別区税や地方消費税交付金など歳入の増加を見込む
- 一方、歳出面では、市街地再開発や区独自の出産応援給付金、児童相談所の開設等による経費の増加、また、学校給食費の完全無償化や「こち亀」を活用した観光拠点、柴又の観光拠点の整備事業など計上

- ◎ **SDGs をさらに推進し、「持続可能な葛飾」** を実現するために
- * 給食費無償化、出産応援給付金、英語学習の充実など「**子育て・教育**」
 - * スマホを活用したスポーツ事業や介護予防事業など「**健康づくり・福祉**」
 - * 防災訓練の実施や災害拠点病院BCP策定など「**災害対応**」
 - * 亀有や柴又の観光拠点整備など「**産業観光**」
 - * 新金貨物線の旅客化やエコ助成金など「**環境・まちづくり**」などに積極的に取り組んでまいります。

主な増減額（対前年度当初予算比）

【歳入】

- 特別区税は、特別区民税の増などにより 14億円の増
- 特別区交付金は、原資である市町村民税法人分の増収や児童相談所設置加算により 77億円の増
- 国庫支出金は、市街地再開発事業費の増などにより、31.9億円の増

【歳出】

- 福祉費は、私立児童福祉施設措置等経費、児童相談所建設経費など 28.8億円の増
- 産業経済費は、物価・原油価格高騰等対策緊急事業経費など 6.1億円の増
- 都市整備費は、街づくり事業経費など 57.9億円の増
- 職員費は、退職年齢引き上げに伴う退職手当の減など **△5.0億円の減**

令和5年度葛飾区当初予算案

(単位:千円、%)

会計名	当初予算額		比較増減	
	令和5年度 A	令和4年度 B	金額 C(A-B)	率 C/B
一般会計	223,070,000	212,000,000	11,070,000	5.2
国民健康保険事業特別会計	48,860,000	47,680,000	1,180,000	2.5
後期高齢者医療事業特別会計	11,995,000	11,368,000	627,000	5.5
介護保険事業特別会計	43,818,000	42,527,000	1,291,000	3.0
用地特別会計	35,001,000	0	35,001,000	皆増
駐車場事業特別会計	682,500	612,500	70,000	11.4
合計	363,426,500	314,187,500	49,239,000	15.7

〈参考〉本区一般会計当初予算の推移

(単位:億円、%)

年度	5年度	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
規模	2,231	2,120	1,994	2,049	1,962	1,907
伸び率	5.2	6.3	△2.7	4.5	2.9	0.1

令和5年度 一般会計歳入歳出予算款別表

歳入

(単位：千円、%)

年度 款名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	構成比
1 特別区税	36,338,887	34,935,734	1,403,153	4.0	16.3
2 地方譲与税	712,000	704,000	8,000	1.1	0.3
3 利子割交付金	120,000	84,000	36,000	42.9	0.1
4 配当割交付金	608,000	568,000	40,000	7.0	0.3
5 株式等譲渡所得割交付金	597,000	600,000	△ 3,000	△ 0.5	0.3
6 地方消費税交付金	10,340,000	9,420,000	920,000	9.8	4.6
7 環境性能割交付金	201,000	181,000	20,000	11.0	0.1
8 地方特例交付金	489,000	497,000	△ 8,000	△ 1.6	0.2
9 特別区交付金	83,000,000	75,300,000	7,700,000	10.2	37.2
10 交通安全対策特別交付金	44,000	46,000	△ 2,000	△ 4.3	0.0
11 分担金及び負担金	1,427,786	1,475,476	△ 47,690	△ 3.2	0.6
12 使用料及び手数料	3,080,352	3,066,554	13,798	0.4	1.4
13 国庫支出金	48,389,768	45,204,583	3,185,185	7.0	21.7
14 都支出金	17,441,763	16,796,455	645,308	3.8	7.8
15 財産収入	305,652	280,059	25,593	9.1	0.1
16 寄附金	44,725	35,082	9,643	27.5	0.0
17 繰入金	13,345,589	15,794,625	△ 2,449,036	△ 15.5	6.0
18 繰越金	2,000,000	2,000,000	0	0.0	0.9
19 諸収入	4,584,478	5,011,432	△ 426,954	△ 8.5	2.1
歳入合計	223,070,000	212,000,000	11,070,000	5.2	100.0

歳出

(単位：千円、%)

年度 款名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	構成比
1 議会費	588,824	585,372	3,452	0.6	0.3
2 総務費	20,627,694	19,885,219	742,475	3.7	9.2
3 環境費	7,851,661	7,554,211	297,450	3.9	3.5
4 福祉費	85,308,638	82,427,149	2,881,489	3.5	38.2
5 衛生費	8,426,174	8,300,428	125,746	1.5	3.8
6 産業経済費	5,418,974	4,804,246	614,728	12.8	2.4
7 都市整備費	22,895,007	17,100,827	5,794,180	33.9	10.3
8 教育費	26,344,341	26,311,735	32,606	0.1	11.8
9 職員費	24,816,439	25,315,075	△ 498,636	△ 2.0	11.1
10 公債費	1,238,700	1,161,344	77,356	6.7	0.6
11 諸支出金	19,253,548	18,254,394	999,154	5.5	8.6
12 予備費	300,000	300,000	0	0.0	0.1
歳出合計	223,070,000	212,000,000	11,070,000	5.2	100.0

当初予算案の主な項目

サッカースタジアム建設を目指して！

私学事業団総合運動場の敷地取得に向けた協定を締結しました

葛飾区では、世界的に認知されているサッカー漫画「キャプテン翼」も活用しながら、更なるスポーツ振興に向けた環境整備として、また、多様な世代が集う交流拠点となる地域活性化の起爆剤として、サッカースタジアムを建設することを視野にまちづくりの検討を進めてきました。令和5年2月1日、将来的なサッカースタジアム整備を目指し、私学事業団総合運動場の敷地の取得に向けた協定を締結しました。

1 取得する不動産

○ 所在 東京都葛飾区東新小岩1丁目

113番7 65,783㎡

113番8 1,700㎡

280番1 620㎡

○ 野球場、陸上競技場、テニスコート、クラブハウスなど

※当分の間は、現施設を区の体育施設に位置付け、区民等の利用に供する。

2 今後のスケジュール

令和5年2月1日 協定の締結

令和5年12月 不動産売買契約の締結

令和6年3月 不動産の引渡

3 予算内訳

(1) 公共用地取得費

350億100万円

(2) 都市計画決定図書等作成業務支援委託費

450万円（債務負担行為設定 令和6年度 1,050万円）

(3) 測量等委託費

2,639万7千円



△私学事業団総合運動場(出典：Google Earth)

区立小・中学校給食費の完全無償化を実現します

学校給食を安定的に提供し、児童及び生徒の心身の健全な発達を促すとともに教育環境の一層の充実を図ります。

●23区で初めて、年間を通じた学校給食費の完全無償化を実現します！

●食材価格が高騰している状況でも、給食の質を担保し適切な栄養量を満たした給食を提供します！

1 対象

葛飾区立小・中学校に在籍する児童・生徒に係る学校給食費
(アレルギー、宗教、その他の理由で給食を食べない場合は対象外とする。)

<参考>

区立学校に在籍する児童・生徒数 合計 28,941人 (令和5年度の見込み数)

(小学校 20,214人、中学校 8,711人、特別支援学校 16人)

※就学援助等により既に給食費を補助している者を含む。

2 無償化の流れ

- ①児童・生徒の保護者から委任を受けた学校長が、区に給食費の補助を申請する。
- ②申請内容に基づき、区が給食費の全額を学校長口座に支払う。
- ③各学校にて、支払われた給食費で食材を購入し、児童・生徒に給食を提供する。

3 開始時期

令和5年4月から

4 ① 1食当たりの給食費補助額

全額補助！

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	19.25円 (1食当たりの給食費 247.96円) ※	46.39円 (1食当たりの給食費 273.52円) ※	290.45円
中学校	11.83円 (1食当たりの給食費 301.40円) ※	40.96円 (1食当たりの給食費 328.17円) ※	347.84円

※ 1食当たりの給食費は、各年度とも令和5年度の給食実施予定回数で算出

② 給食費保護者負担額

	令和4年度	令和5年度
小学校	3,900円~4,900円	0円 (月額給食費 4,800円~5,700円)
中学校	5,280円	0円 (月額給食費 6,300円)

出産に伴う高額な費用を 区独自支援でサポートします

【出産・子育て応援ギフトについて】
育成課
【かつしか出産応援給付金】
子育て支援課

予算額

応援ギフト 188百万円
応援給付金 169百万円

安心して出産・子育てできる環境を整備するため、出産育児一時金に加えて、「応援ギフト」と「応援給付金」で経済的にサポートします

出産にかかる費用 東京都平均62万円(平成28年出典国民健康保険中央会より)

出産育児一時金(健康保険に加入されている方)
50万円(予定)

ギフト10万円相当
(※1)

区独自5万円
(※2)

(※1) 出産・子育て応援ギフト給付事業…妊娠届出時と出生届出後の面談実施後に、それぞれギフト5万円相当を給付

(※2) かつしか出産応援給付金事業…児童手当・子ども医療証との同時交付申請で、5万円の現金給付

「面談時の寄り添い支援」+「現金給付などの経済的支援」を両立しています

妊娠届提出+面談 ▶ ギフト5万円相当

妊娠

出産

出生届提出+面談 ▶ ギフト5万円相当

出生届提出 ▶ **区独自支援金5万円**

妊婦健康診査における 超音波検査の公費補助を拡大します

子ども家庭支援課

予算額 302百万円

妊婦と胎児の健康管理の充実及び妊娠にかかる経済的負担の軽減を図るため、健診にかかる費用の一部を助成し、安心して出産できる環境を整えます。

	これまで	令和5年度より
超音波検査公費補助	2回 ※公費負担5,300円/1回	4回 6回(多胎妊娠の場合)

超音波検査とは胎児の推定体重を測るなど胎児の発育状況を評価するもので、胎児の成長を確認するためにとっても大切なものです。

令和5年度からの超音波検査について
「4回までの公費補助」と
「多胎妊娠への助成回数上乘せ(最大6回)」を実施

ともに23区初!



超音波検査の様子(イメージ)

3歳児未満の子育て世帯をサポートします

育成課

予算額 24百万円

☑多胎児用ベビーカー購入等費助成事業

高額な多胎児用ベビーカー購入・レンタルの経済的負担を軽減し、外出支援を行います。



新規

対象	補助率	補助上限
3歳児未満の多胎児を育てる世帯	1/2	1世帯当たり30,000円

23区初

☑家事サポーター派遣事業

対象の子育て世帯に家事サポーターを派遣し、日常の家事支援等を行うことで、子育てに伴う身体的・精神的負担の軽減を図ります。令和5年度からその対象を拡大します。

対象	補助額	内容
これまでの支援対象である多胎児妊婦の方または3歳未満の多胎児を養育する世帯に加えて ①一子世帯 <ul style="list-style-type: none"> 0歳 60時間/年 1歳 20時間/年 2歳 20時間/年 ②多子世帯 <ul style="list-style-type: none"> 0歳+3歳未満 180時間/年 0歳+3歳以上 60時間/年 1歳+3歳未満 40時間/年 1歳+3歳以上 20時間/年 2歳+3歳以上 20時間/年 都補助基準 (黄色) 区独自加算 (赤色)	公費負担額2,700円/ 1時間 ※利用料金3,000円/ 1時間 ※利用者負担額300円	食事の支度 衣類の洗濯 居室の清掃 健診の付添い等

拡大

「0歳と3歳以上の子どもがいる多子世帯」には、
都補助基準(20時間/年)に加えて、
区独自加算(40時間/年)を上乗せ
→最大60時間/年まで活用可!

区独自

子ども向けの予防接種について拡充

世帯の経済的負担を軽減し、予防接種の受けやすい環境を整えるために、必要な予防接種費用の助成を拡充します。

内容	対象	助成内容	
		令和4年度まで	令和5年度から
子どものインフルエンザ予防接種	生後6か月から15歳まで	生後6か月から12歳まで 1,000円/2回 13歳から15歳まで 1,000円/1回	生後6か月から12歳まで 2,000円/2回 13歳から15歳まで 2,000円/1回
おたふくかぜ予防接種	5歳から小学校就学前まで	1回分のみ全額助成 (2回目は自己負担)	2回分を全額助成
水ぼうそう予防接種	3歳から6歳まで	(1歳から2歳までは定期接種のため自己負担なし)	1歳から2歳までの定期接種に加え、 3歳から6歳の未接種者も全額助成

拡充

私立保育所・私立幼稚園等への助成を拡大 特色ある取組や安全対策等を支援します

子育て支援課

予算額 235百万円

私立保育所等補助

☑ 私立保育所等が行う人材確保や安全対策に対する支援をより充実していきます

補助事業	内容	金額(1園あたり)
一般保育所対策事業費	児童数に応じて支給する区独自扶助 保育所の運営に要する経費全般に活用	既存の運営費補助に加えて 園児一人当たり 1,290円/月の増額
創意工夫ある取組加算	異年齢児交流や人材確保に係る経費の 一部を補助	既存の取組加算に加えて 約 100万/年の増額
安全対策経費加算	保育所の安全対策への経費（感染症対 策経費含む）補助	約 50万/年

拡大

拡大

新規

私立幼稚園等補助

☑ 特色ある取組※や幼児教育のノウハウを広く区内外へ発信し、魅力ある活動をPRするだけでなく、 保育所等の就学前施設と幼児教育への共通認識を促します

☑ 幼児教育を経て培う「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を足掛かりとして、小学校との円滑な 接続を促します

※幼児教育要領に基づく5領域に関する活動を各園の創意工夫により充実させた取組

対象	補助率	補助上限(1園あたり)
通年預かり保育を行う 区内私立幼稚園・認定こども園(20施設)	10/10	300万円/年 (10か所予定)

新規

事業フロー

計画立案申請

審査及び認定 (10園程度)

事業実施・報告会開催

区内外に情報発信

保育所に通わず、家庭で保育をしている 保護者の保育所利用をサポートします

子育て支援課

予算額 11百万円

保育所などに通わず、家庭で子どもを保育している保護者が、保育所等に預けることができる保育サービスを提供します。
令和5年度は、現行の一時保育の枠組みを活用し、家庭保育の子どもの保護者に対して保育所等の利用料を助成します。

家庭保育の
子どもの保護者
(保育認定がない)

一時
保育を
利用

区独自！

月額8,000円を上限に補助
(1時間当たり125円)

子どもを8時間、一時保育に預けた場合
→125円×8時間 = 1,000円を補助

保育認定とは

就労や就学しているなど、
保育を必要とする事由に
該当するなどの場合に認
定されるものです。

今後も、家庭で保育をしている保護者のさらなるサポートを検討していきます。

一時保育

家庭での保育が一時的に困難となった子どもを預かる事業。通院や通学、リフレッシュしたい時など理由を問わず利用可能。

【対象児童】区内在住の小学校就学前で、保育園や幼稚園などの施設を利用していない子ども

※幼稚園に通っている子どもでも、幼稚園がお休みの日や、預かり保育を実施していない時間帯などは利用可能

【保育料の目安】4時間（8時間）利用した場合

3歳未満1,500（3,000）円 3歳以上1,000（2,000）円

※利用できる子どもの年齢、利用料金は施設によって異なります。あくまで目安です。

【実施施設】一時保育を実施している認可保育所・認定こども園

小・中学校の英語学習を充実します！

指導室
地域教育課

予算額 175百万円

小学1年生から中学3年生までの義務教育9年間を通したカリキュラムにより、英語教育を更に充実させるため、小学1・2年生での英語教育を新たに実施するとともに、3年生から6年生の外国語活動及び外国語科におけるALT(英語指導補助員)の配置時間数を増やします。また、区立小学校・保田しおさい学校の5・6年生で実施している英語体験プログラムを新たに中学1年生にも拡大します。

1 ALTの拡大 (1億1,928万3千円)

小1・小2
英語に親しむ時間

新

【新】ALT 小1 10時間
小2 20時間

小3・小4
外国語活動 35時間※1のうち
【拡】ALT 12→18時間

拡

小5・小6
外国語 70時間※1のうち
【拡】ALT 24→36時間

拡

中1～中3
外国語 140時間※1のうち
ALT 24時間

小4・小5・小6
英語クラブ等での活用
【新】ALT 10時間

新

区立全小学校
わくわくチャレンジ広場※2での活用
【新】英語指導員による英語教室
(月2回程度)

新



△ALTを活用した授業風景

※1 小・中学校学習指導要領に定められた授業時数

※2 放課後等に、空き教室や体育館・校庭などを使用し、児童が地域の方と一緒に遊び、学ぶことができる場所

2 英語体験プログラムの拡大 (5,591万4千円)

○対象

区立小学校5・6年生全児童

保田しおさい学校5・6年生児童

区立中学校の1年生全生徒にも拡大！

○内容

体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」のプログラムを体験します。小学5年生では外国語への興味・関心を高め、小学6年生では外国語の表現力を伸ばします。

そして、中学1年生では小学校で培った表現力のさらなる定着を図ります。

中学卒業時の英語力の目標について

文部科学省が発表した、

中学卒業までに達成を目指す英語力「**英検3級**」相当以上について

2022年度までは、生徒数の**50%**以上目標(葛飾区は57.2%※令和4年度実績)

2027年度までに**60%**以上目標に引き上げ

➡**葛飾区は国の目標を超えて65%以上を目指します！**

タブレット端末を活用したオンライン学習を実施します

葛飾区は、区立小・中学生用に一人一台のタブレット端末を貸与し、学校におけるICT環境の整備や授業及び校務におけるICTの活用を推進しています。令和5年度は、中学校における自学自習を推進するために、朝学習の時間や家庭学習でタブレット端末を活用し、オンライン学習教材(使用料:871万2千円)を使った学習環境を整備します。

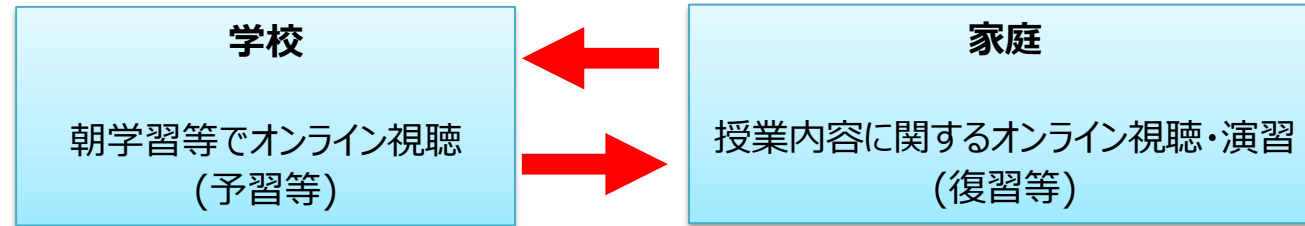
1 開始時期

令和5年4月から(2校で試行実施予定)

2 活用方法(数学科目)

生徒に貸与しているタブレット端末で、朝学習や授業の復習での活用を検討中

▽活用案(イメージ)



オンライン学習教材を用いることで、授業の予習・復習などの自学自習を推進します



◎ 学力の定着や応用力の向上、学習習慣の定着を図ります

学校外の屋内温水プールの活用を推進します

学校教育推進担当課

予算額 205百万円

葛飾区では、令和4年度から区内の屋内温水プールを活用して区立小学校の水泳指導を実施しています。今後、すべての区立小学校で実施できるよう推進していきます。

屋内温水プール実施校を拡大します(1億6,286万6千円)

令和4年度に12校で実施した屋内温水プールの水泳指導を、**令和5年度は24校に拡大します。**

- 1 場所
区立または民間の屋内温水プール（12か所）
- 2 移動手段
原則バス移動（近距離の学校は徒歩）
- 3 実施回数
各学年6～7回（通年）

実施校のアンケート

『今後も屋内温水プールを活用したい』
⇒児童の約**90%**、教員の約**98%**

屋内温水プール施設を新たに整備します(4,170万円)

屋内温水プールでの水泳指導を推進するために、新宿地区に新たな屋内温水プールを整備します

- 1 場所
新宿3-17-5(1,669㎡) ※現在、清掃事務所新宿分室として使用中
- 2 コース数
7コース程度
- 3 スケジュール
令和5年度 測量、地盤調査、設計
令和6年度～8年度 建物の解体・プール建設工事
令和9年度 供用開始予定
※お花茶屋地区にも整備を予定（現在は東京都所有地）



△屋内温水プール水泳指導の授業の様子

令和5年10月開設予定

葛飾区児童相談所・一時保護所を開設します！

児童相談所開設準備室

予算額 2,416百万円

令和5年10月1日に葛飾区児童相談所・一時保護所を開設する予定です。区民に寄り添う支援を担う子ども総合センターと、子どもの安全確保など法に基づく専門的な支援を担う児童相談所・一時保護所が両輪となって、子どもの最善の利益を確保する体制を構築します。令和5年度は、建築工事費に約10億円、児童養護施設等へ入所した子どもたちの生活費として約8億円、運営費や物品購入費などとして約4億6,000万円などを計上します。

【概要】

建設地 : 立石二丁目179番1、2号

敷地面積 : 2,177.93平方メートル

階高 : 地上4階建

【スケジュール（予定）】

令和5年 3月末 児童相談所 1階部分竣工

6月末 建設工事全体竣工

10月1日 開設



△外観パース



△児童相談所 待合スペース



△児童相談所 職員室

あらゆる世代の健康づくりを支援します！

区では、基本計画において「**健康長寿のまち、葛飾**」推進プロジェクトを掲げており、区民が自ら健康を意識し、健康づくりに取り組むことができる事業を展開しています。生活習慣病やフレイルの予防、若いうちから自らの健康管理や健康維持を意識できるよう、運動・食生活や生活習慣の見直しなど、日常生活の中で継続して実践できる取組を引き続き進めてまいります。

あらゆる世代の区民が生涯を通じての切れ目のない健康づくりに取り組み、いつまでも元気に若々しく活躍できるまちをつくっていきます。



健康的な生活習慣、
健診・事業参加等
スマホでポイントを収集！

⇒P.19
上段

●健康的な生活習慣
(運動・食事・休養)
体重測定、歩数計測
食事記録、血圧記録 など

R5年度
ポイントスタート

●健康診査の受診促進等
各種健康診査、がん検診
栄養、歯科相談 など

⇒P.20

●健康づくり事業への参加

⇒P.19
下段

スポーツ
介護予防

R5年度
ポイント充実

地域活動
高齢者支援
地域福祉・低所得者支援
子ども・家庭支援
地域教育 など

貯めたポイントでかつしかの元気食堂で
使える食事券などをプレゼント！

＼いつまでも元気に活躍できるまちに！／

健康意識の向上につなげ、
▽健康づくりの活動の継続
▽健康長寿の実現



区ではさまざまな健康づくり事業を
実施しています！

- 運動習慣推進
 プラチナ・フィットネス
- 受動喫煙対策の推進
- ぜんそく教室
- 健康や医療に関する講演会
- マタニティパス事業
- かつしか糖尿病
 アクションプランの推進
- 小児生活習慣病予防健診
- ハローベビー教室・パパママ学級
- 「早寝・早起き、朝ごはん」
 推進事業
- 区民保養施設提供 など

健康づくり支援

健康づくりでポイントを貯めよう！

スマホを使った総合的な健康づくり支援の充実！

健康づくり課

予算額 40百万円

健康ポイント付与メニュー

体重記録、基準歩数クリア
ウォーキングラリー
セミナー参加、健診受診
など

スマホにアプリを
ダウンロード

健康的な生活習慣や
健診の受診、事業へ参加し、
ポイント収集

貯めたポイントに応じて、
かつしかの元気食堂食事券や
クオカードをプレゼント

一般区民の対象者を
前年比約2.5倍の2,000人に、
区内企業の30事業所・150人に増加！

ポイント付与対象事業を
30事業に増加！



健康づくり支援

スポーツ事業や介護予防事業に積極的に参加してもらえる環境づくりを！

体力テスト測定会

ウォーキング・
ランニング事業

グラウンドゴルフ
バウンドテニス
ダーツ

スポーツ指導員や
ボランティアの養成

子どもからお年寄りまで一緒に遊び
ながら楽しめる
レクリエーションスポーツ



自主的に地域で取り組む介護予防活動について、
保健師などの専門職を派遣！

ふれあい銭湯や、うんどう教室、脳カトレーニングなど
楽しく参加できる介護予防事業が充実！



生涯スポーツ課

予算額 9.0百万円

地域包括ケア担当課

予算額 139百万円

健康づくり支援

高齢者の健康診査を充実します！

高齢者の健康状態を把握するために各種健康診査を活用し、適切な保健指導につなげます。令和5年度は、サルコペニアの予防のために、**70歳の方を対象に「健康長寿筋肉元気健康診査」を新設**します。

【1について】
長寿医療・年金担当課

【2・3保健指導について】
健康づくり課

【4について】
歯科保健担当課

予算額 551百万円

1. 長寿医療健康診査

(約5億3,000万円)

(東京都後期高齢者医療広域連合受託事業)

⇒区内在住の後期高齢者医療制度加入者

(対象：約63,000人)

R5年度～

2. 健康長寿筋肉元気健康診査

(約80万円)

⇒国民健康保険に加入している方のうち、

年度末年齢70歳(対象：約2,800人)

サルコペニア(筋力低下)の早期発見

3. 健康長寿いきいき健康診査

(約312万円)

⇒年度末年齢76歳及び81歳

(対象：約10,850人)

フレイルに関する問診や身体機能検査を行う

4. 長寿歯科健康診査

(約1,670万円)

⇒年度末年齢76歳及び81歳

(対象：約10,850人)

口腔内診査と口腔機能診査を行う

【保健指導】

(約60万円)

▼健診結果でフレイルやサルコペニアの疑いがある方を対象に、体組成計による測定や栄養相談、身体機能訓練を3か月実施

▼歯科健診受診者及び公募による65歳以上の区民を対象に、口腔機能の維持に関するフォロー教室を3回実施

健康づくり支援

成人歯科健康診査の対象を広げます！

区民の歯周病等の歯科疾患を予防し、口腔の健康の保持増進を図ります。令和5年度は対象者に30歳と35歳の方を新たに加えます。

1. 対象者 : **30歳、35歳**、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる区民。(約55,000人)

2. 実施期間 : 令和5年6月～9月(4か月間)

3. 実施場所 : 区内指定歯科医療機関

歯科保健担当課

予算額 61百万円

带状疱疹等の予防接種について拡充します

世帯の経済的負担を軽減し、予防接種の受けやすい環境を整えるために、必要な予防接種費用の助成を拡充します。

内容	対象	助成内容		
		令和4年度まで	令和5年度から	
带状疱疹 予防接種	50歳以上	未実施	①生ワクチン 4,000円/1回 もしくは、 ②不活性化ワクチン 10,000円/2回 ※①と②の併用は不可	新規
高齢者 インフルエンザ 予防接種	65歳以上 または60歳～64歳で 内部機能障害1級程度の方	自己負担額 2,500円 (生活保護受給者、中国残留邦 人等の支援給付受給者は除く)	①65歳～74歳 自己負担2,500円 ② 75歳以上は全額助成	拡大

新規

拡大

～暮らしのお悩みをまるごと支援～

「暮らしのまるごと相談窓口」を新設します

年齢や収入、障害の有無などにかかわらず、生活上の様々な不安や課題を、世帯単位等でまるごと受け止め、寄り添いながら支援していくため、「暮らしのまるごと相談課」を新設。新たに「暮らしのまるごと相談窓口」を設置し、隙間のない支援を実現します。

暮らしのまるごと相談窓口【令和5年5月開始予定】（1,455万1千円）

ヤングケアラーやダブルケア、8050問題等、個人や世帯、家族が抱える多様な課題を、福祉等の専門職がまるごと受け止め、寄り添いながら状況を把握し、解決方法を一緒に考え支援します。

こんなことが相談できます！

- ・困っているけど、どこに相談すればいいかわからない
- ・生活全般に不安がある
- ・急に仕事がなくなってしまった
- ・近所の人が生活に困っている

暮らしのまるごと相談課

体制（予定）：11名（課長1名、ケースワーカー6名、事務職員4名）

事業内容

まるごと

暮らしのまるごと相談窓口の設置（包括的相談支援事業）

こちらから

出向く支援の実施（アウトリーチ事業）

継続して

つながり続ける支援（伴走支援）

チームで

関係支援機関による連携支援（多機関協働事業）

地域とのつながり

地域参加支援の実施（参加支援事業）

ヤングケアラーの支援団体への助成等を行います

本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども、「ヤングケアラー」について、令和5年度は、ヤングケアラーやその家族への支援を行う団体へ運営費の助成等を行います。

ピアサポート等活動費助成

ヤングケアラーやその家族への支援を行う地域活動団体が実施する、ピアサポートや相談支援等の事業にかかる経費を助成します。

	補助率	上限
立上げ助成	10 / 10	20万円
運営費助成	10 / 10 (令和8年以降は2 / 3)	30万円 (月1回以上活動) 60万円 (週1回以上活動)

ヤングケアラー支援に関する職員研修

ヤングケアラー支援に携わる職員がヤングケアラーについて学び、支援のための基本的な認識を共有するための研修を行います。

【今後の支援策について】

現在、本区のヤングケアラーの状況把握のため、小学校4年生から高校生世代の子どもたち等を対象に状況調査を実施しており、令和5年4月に結果を公表予定です。その調査結果を基礎として、ヤングケアラーと家族へのさらなる支援策と連携体制の拡充を図るとともに、くらしのまるごと支援体制を活用し包括的な支援に全庁を挙げて取り組みます。

○調査対象

小学校4年生から高校生世代の子どもたちや、民生委員・児童委員、区立小・中学校や高齢者及び障害者に関わる事業所などの関係機関

○調査内容

ケアの有無・対象者・内容・頻度・他者への相談状況等

医療的ケア児者などの相談支援やヤングケアラーの 早期発見などに対応していきます！ — 基幹相談支援センターの設置 —

障害援護担当課

予算額 9.0百万円

重症心身障害者や精神障害等の重複障害、医療的ケア児者など、支援の難しい方に対する相談支援体制を強化し、民間の相談支援事業所、施設など事業者の育成を行うため、地域における相談支援の中核的な役割を担う「基幹相談支援センター」を設置します。

1 コーディネート機能の強化による総合的相談支援

入所施設の利用調整や、地域移行・地域定着促進、病院への入退院時など、ご本人とご家族の状況に応じ、障害福祉の制度や他機関の支援、福祉にかかる地域資源等をコーディネートし総合的に支援します。

2 世帯を単位とした家族支援の強化

障害児者を介護する家族の状況を把握し、他機関と連携して世帯全体を支援します。
障害者手帳を取得しながら障害福祉サービス利用に結びついていない方や、虐待、ヤングケアラー等の課題を抱える世帯の早期発見につなげます。

3 地域の相談支援体制の強化

民間の相談支援事業所、施設に対し、計画的な専門研修を行うほか、事例検討会の企画・運営、障害児者のサービス利用計画相談や個別支援にかかる具体的アドバイス等を委託により実施します。

～いざというときに備えて！～

災害対応力を強化します

首都直下地震や大型台風などの大規模災害において、区民の生命・身体・財産を守るためには、迅速かつ効果的に災害対応を行うことが重要です。令和5年度においても、**大規模災害を想定した実動訓練を重ね、災害対応力を強化します。**

1. 総合防災訓練（930万8千円）

2023年は関東大震災から100年をむかえる年です。総合防災訓練では震災を想定した図上訓練、避難所運営訓練、防災シンポジウムの開催を予定しています。



△今年度実施した図上訓練の様子

2. 京成本線荒川橋梁部水防訓練（387万5千円）

京成本線荒川橋梁架替による堤防かさ上げ完了までの間、より迅速かつ効果的な止水対策とするため、線路部の凹凸を解消するための平坦化を進めるとともに、工事の進捗に併せて関係者間で水防活動手順を見直しながら、令和5年度も夜間訓練を重ねていきます。

（令和5年度は6月に実施予定）



夜間に実際の線路を利用して訓練を行います！

△今年度実施した水防訓練の様子

【震災図上訓練について】
危機管理課
【水防訓練について】
調整課

予算額 13百万円

災害拠点病院のBCPを作成します！

地域保健課

予算額 7.5百万円

今年度は、「葛飾区災害医療救護計画」に、風水害編を加える改定を行いました。
令和5年度は大規模水害時の医療体制及び連携の強化を目的に、**災害拠点病院 BCP（業務継続計画）を作成します。**

支援内容は、BCP作成委員会の設置や災害規模に応じた対応力の評価、防止措置の検討、優先業務の選定です。



△カスリーン台風後の葛飾区内（昭和22年）

BCP支援内容案

①立地リスク評価

●外水氾濫(洪水)、内水氾濫時の病院の立地リスク(浸水リスクやインフラ・ライフラインへの影響)を評価

2つの災害シナリオを作成

短期的対応で済む被害

中・長期的対策が必要な被害

②災害時優先業務の選定と目標時間等の検討

●風水害時に継続すべき業務を選定

それぞれの業務について

着手目標時間

を設定

停止許容時間

③業務資源の影響評価

●業務資源を確認

業務資源

人 建物 設備

物資 備品

⇒業務資源が、2つの災害シナリオで、どのような影響を受けるのかを評価する。

④業務資源の課題対応策の検討

●短期・中期・長期に分けて、実施する時期を整理したロードマップを作成。

短期

中期

長期

ロードマップ作成

+

ロードマップを実施するためのBCM（業務継続マネジメント）も作成

⑤風水害発生時の行動フローの検討

●②を踏まえて、

フロー図などで可視化！

災害対策本部の行動

各部門の行動

病院職員の参集基準

『こち亀』を活用した観光施設の整備を進めます！

人気漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」(以下、「こち亀」といいます。)の舞台として、「こち亀」キャラクター銅像やデザインマンホール蓋の設置など、これまで様々な観光施策を進めてきた亀有地域の観光拠点となる施設を整備します。

令和5年度は、令和4年度に実施した設計に基づき、施設建設工事に着手します。

<建物概要>

住所：葛飾区亀有3-32-17

敷地面積：193m²

延床面積：540m²

構造：鉄筋コンクリート+鉄骨造 5階建て

<スケジュール>

令和5年度 建設工事
 展示物制作
 管理運営計画策定
 令和6年度 竣工、開設

	展示物制作費	工事費
令和5年度	6,793万7千円	2億4,800万円
令和6年度	4億8,155万7千円	3億7,250万円
合計	5億4,949万4千円	6億2,050万円

<フロア構成図>



△建物パース



＜展示の基本的な考え方＞

施設全体を一つのストーリーで繋ぎ、こち亀の施設から亀有のまちへと誘う

「こち亀」の世界観を表現しながら、「亀有のまち」とシンクロしていく展示構成とすることで、来館者が施設にとどまらず、亀有のまちに繰り出したくなる展開とします。

＜ストーリー＞

逃げる両津を大捜査！！ ～派出所から始まる両さんの追跡ストーリー～

派出所の上に自分の記念館をつくってしまった両さん。それに気づいた大原部長は激怒。来館者は、大原部長からの依頼により、逃げ出した両さんを追いかけて館内を巡ります。

＜展示の特色＞

- こち亀の「遊び心」を取り入れた体験性
ゲーム性のある展示や、五感で楽しむ展示を展開します。
- 何度でも来たいと思える、常に新鮮な体験を提供できる更新性
デジタルコンテンツなど、更新しやすい手法を活用します。
- 誰もが楽しめる展示環境
こち亀の世界観を大切にしつつ、ユニバーサルデザインや多言語対応に配慮します。

＜イメージ図＞



※イラストはイメージです

川甚跡地を活用した柴又の観光拠点づくりに 向けて基本設計等を進めていきます

賑わいと
回遊の
新たな拠点に

川甚跡地の活用については、柴又公園の拡張部として令和7年度中のリニューアルオープンを目指し、旧川甚新館の改修における**基本設計等**を進めていくほか、賑わいを創出するイベントを開催します。

令和5年度

旧川甚新館の改修に向けた**基本設計・実施設計等**
(3,734万1千円)

川甚跡地を活用した**イベントを開催(2日間)**
(1,160万7千円)

管理運営計画の策定
(878万5千円)

令和6年度

改修工事

旧川甚新館改修工事、公園整備（実施設計含む）等

令和7年度

**オープン
(予定)**

賑わい創出イベントの開催



- ・マルシェ
- ・キッチンカー
- ・体験プログラム
- ・大道芸 など

※写真はイメージです



※屋外空間のゾーニングイメージ(川甚跡地活用プラン最終報告より抜粋)

水辺の観光推進！

水元公園での貸しボート事業を実施します！

都内随一の水郷景観を有する都立水元公園の小合溜における貸しボート（ローボートに限る）事業を進めます。水元公園に新たなアクティビティを創出することにより公園の魅力を高め、観光誘客を図ります。

- 1 場所
都立水元公園・小合溜(外溜)
- 2 事業スケジュール（予定）
事業者公募 令和5年6月以降
事業実施 令和5年9月以降
- 3 事業範囲（想定）
小合溜ふれあいエリアの一部
- 4 船着場（想定）
旧釣りの家付近



△水元公園(観光PR YouTube動画)



△ローボート（参考画像）



△事業範囲と船着場（想定）



△水元公園小合溜

南葛SCとコラボしたデジタルスタンプラリーを実施します

リーグ昇格を目指す南葛SCと葛飾区が協働し、区ゆかりのキャラクターである「キャプテン翼」や「モンチッチ」のゆかりの地を巡るデジタルスタンプラリーを実施します。スタンプラリーのシステム開発は南葛SC、葛飾区はポスター・チラシ作成(43万6千円)等によるPR活動やオリジナルノベルティを作成します。

第一弾 7月～9月開催(予定)

「キャプテン翼」ゆかりの地域を巡るコース

- スポット設置場所(10か所)
四つ木・立石・青戸周辺(キャプテン翼銅像・商店街・観光スポットなど)

第二弾 1月～3月開催(予定)

「モンチッチ」ゆかりの地域を巡るコース

- スポット設置場所(10か所)
新小岩周辺(モンチッチ銅像・商店街・観光スポットなど)

1 参加費
無料

2 景品の配布(417万2千円)
6スポット達成で、各コース先着5,000名にキャラクターオリジナル景品を配布
景品候補：缶バッジ・ステッカー・ポストカード・アクリルキーホルダーなど
全スポット達成者の中から抽選で各コース20名に特別プレゼントを配布



△キャプテン翼像 ©高橋陽一／集英社



△モンチッチ公園 ©Sekiguchi

区内企業・東京理科大学・葛飾区が連携して 区独自の新製品を開発します！！

商工振興課

予算額 4.0百万円

区内企業と東京理科大学、区が連携し、大学の有する先端的な研究機能と区内町工場の技術を活用した製品づくりを行う共同開発プロジェクトを実施しています。企画から製品化、販売経路の開拓を含めた支援を行い、葛飾のものづくりを推進します。

1 補助金額
上限400万円

2 補助率
3/4

3 参加企業等
区内企業を主体としたグループと東京理科大学
必要な技術に応じて今後拡大する予定

4 製品開発までのスケジュール
令和4年度 製品のテーマ決めなど
令和5年度 製品化に向けた研究・試作品製作など
令和6年度～7年度 製品化～販売へ

開発テーマ

「知的な筋力トレーニング装置」(仮称)

これまでの筋力トレーニング装置

- ▲使用を誤ると効果が得られず、怪我などにつながる
- ▲鍛える部位に応じて、複数器具が必要



- ☑1台で7部位の筋肉を対象に、35種目のトレーニングが可能
- ☑利用者の筋力を簡易に評価
- ☑安全・効果的なトレーニングを実現



△開発中の装置

新金線の旅客化に向けて取り組んでいます

高齢社会の進展や脱炭素社会への潮流など、社会状況が変化していることを踏まえ、南北方向の鉄道網の充実や区の活性化を図るために、新金線の旅客化に向けた検討を進めています。令和4年度は、検討委員会及び幹事会を設置し、旅客化に向けた具体的な検討を開始しました。令和5年度は、新たに「新金線旅客化担当課」を設置。引き続き検討を進め、旅客化の早期実現を目指します。また、新金貨物線旅客化整備基金に積み立てるため、10億円を当初予算に計上します。

新金線の概要

- ・新小岩から金町まで区内南北を通る貨物線
- ・旅客化検討区間は、新小岩～金町の約7.1km

今後の主な検討事項

旅客化施設等の検討

- ・駅、配線計画、踏切、車両基地等の施設計画
- ・適用法令・貨物列車との併存を前提とした運行計画
- ・車両種別・踏切との交差方法 等

事業スキーム

複数の事業スキーム案について、施設計画や収支採算性等を踏まえて総合的に検討します。

需要予測等

事業スキーム毎に、事業効率性や採算面での事業の成立性等を分析するため、需要予測、費用便益分析、採算性分析等を実施します。

※検討の進捗により、内容は変更する可能性があります。

今年度実施の検討委員会及び幹事会

開催時期	会議名
令和4年8月	第1回検討委員会
令和4年9月	第1回検討幹事会
令和4年12月	第2回検討幹事会
令和5年2月（予定）	第3回検討幹事会
令和5年3月（予定）	第2回検討委員会

来年度も、関係機関との調整状況及び検討の進捗に合わせて検討委員会及び幹事会を実施していきます。

第2回検討幹事会の内容

駅数	事務局より、高齢者の一般的な徒歩圏である半径500mをカバーできること等から、10駅案を基本に検討を進めていくことを提案
駅舎構造	事務局より、改札に駅係員を置かないなど簡易な駅舎構造を基本に検討を進めていくことを提案
車両比較	事務局より、鉄道車両及びLRT車両を比較し提示
車両基地等	事務局より、車両基地に必要な機能、検車種類等を提示



△新金線を走る貨物列車

△新金線位置図

地域主体交通 ～身近な移動を地域の力で!!～

グリーンスローモビリティの実証運行を行います

地域主体交通は、地域組織が運行主体となり、身近な生活圏における移動手段を増やすことで地域住民の外出を支援し、地域を活性化させる取組です。現在、東立石地区をモデル地区として**グリーンスローモビリティ**を用いた地域主体交通の導入検討を進めており、令和3年度にデモ走行を実施、令和4年度には運行主体となる「東立石グリスロ運営協議会」が設立されました。

令和5年度は、実証運行を実施するなど、区と協議会の協働で地域主体交通の本格導入を目指します。

事業概要イメージ

葛飾区

区役所



支援

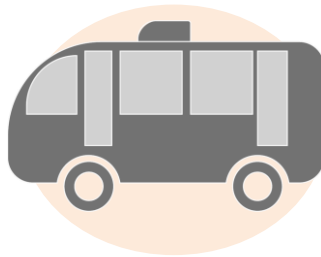
車両の確保・貸出
運行費用の一部
を補助

+

技術的な支援
(ルート検討、
警察協議等)

地域
主体
交通

運行主体
(グリスロ運営協議会)
※東立石地区の8つの自治町会が
中心となり設立



運行計画
運転手の確保
運行ルートの検討
安全対策等を実施

移動
サービス

利用者 (地域住民)



△モデル地区の東立石

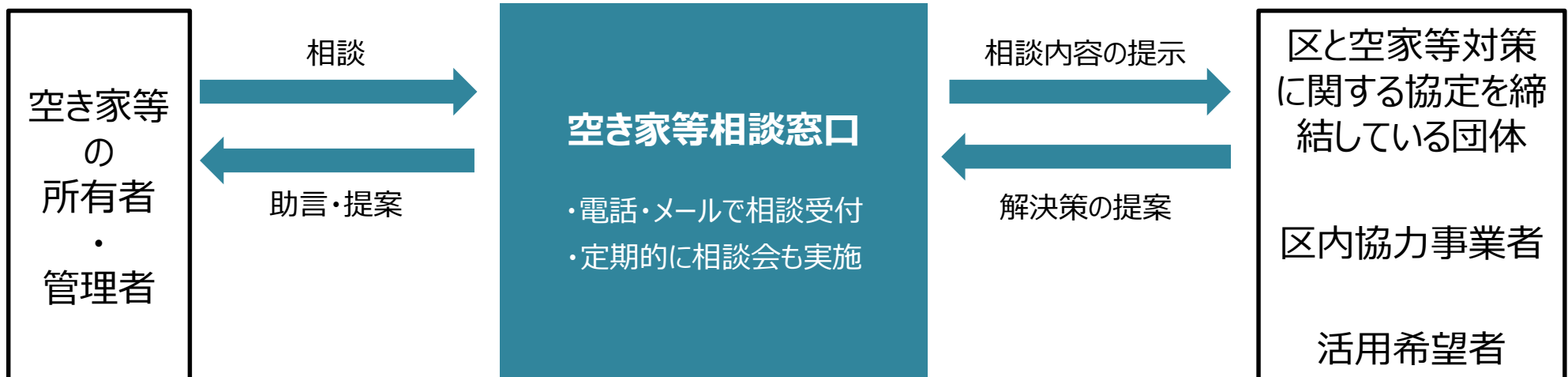
「空き家等相談窓口」を設置します

適切な管理が行われていない空家等は、防災や衛生等の観点から地域住民の生活に深刻な影響を及ぼします。そのような状態に陥る前に、**空き家所有者等が抱えるさまざまなお悩みに応えるための相談窓口を設置します。**また、空家等対策計画の改定に向けた実態調査を実施します。

1. 空き家等相談窓口【令和5年4月開始予定】（668万3千円）

こんな相談が可能です！

○空き家相続後の手続きを知りたい ○実家が空き家になる前に何をすればいいか ○空き家を有効活用したい、売却したい



空き家に関するお悩みを解決し、有効活用を推進します！

2. 空家等実態調査（2,543万2千円）

建築物の耐震化を進めます

予算額 663百万円

大震災発生時の被害軽減と防災上安全なまちづくりを促進するため、建築物の耐震化を進めています。そのため、木造住宅の耐震診断にあたって耐震診断士を無料派遣するほか、耐震改修設計・耐震改修・建替え・除却等にかかる費用を助成します。また、普及啓発活動として、対象建築物所有者等に対し、説明会・相談会などで耐震化の必要性や区の実施を紹介しています。

1. 木造建築物耐震化助成（4億376万円）

アスベスト除去に関わる工事費増への対応

耐震助成額のうち、木造住宅の除却助成限度額を
50万円から70万円に増額！

区内住宅の耐震化率

92.6%（令和2年度時点）

2. 一般緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成（884万1千円）

「対象建築物」や「補助対象」の拡大

「マンション以外の建築物」や「建替え・除却」も対象に！

緊急輸送道路とは・・・

地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と東京都知事が指定する防災拠点とを相互に連絡する道路のことです。

かつしかエコ助成金制度の拡充を図ります

環境課

予算額 262百万円

再生可能エネルギーの利用促進や省エネに配慮した設備などの導入費用の一部を助成する「かつしかエコ助成金制度」の既存制度の拡充を図り、温室効果ガス排出量の一層の削減に取り組めます。

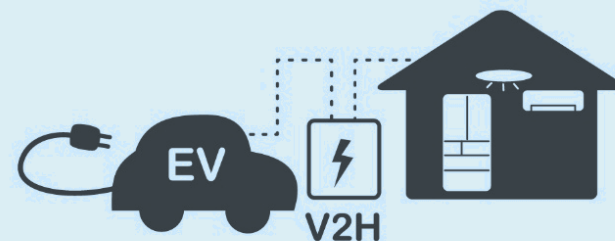
新設

- V2H(ビークル・トゥ・ホーム)の設置費用助成を新設
電気自動車等に蓄えた電気を住宅との双方向でやり取りするためのシステムで、停電時には住宅の非常用電力として機能します。
補助率、限度額・・・本体価格の1/3、15万円(個人住宅・事業所)・20万円(集合住宅)

☑電気自動車が「動く蓄電池」として災害時に活躍

☑数日分の電力の確保も可能

- 高効率換気設備、熱交換型換気設備の設置費用助成を新設
高効率な換気設備を導入し、エネルギーやCO₂の排出を抑制するとともに、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図ります。
補助率、限度額・・・助成対象経費の1/4、100万円(事業所)



△V2Hイメージ

さらに、ヒートショック予防など健康面にも貢献する高断熱住宅や事業者の温室効果ガス排出量の算定と削減を支援するクラウドサービスを新たに助成の対象とします。

拡大

- 電気自動車等 (EV・FCV・PHV) 購入の助成内容を拡充
電気自動車等の購入台数が年々増加する中、予算超過により国補助を受けられないケースもあるため、国補助取得の要件を外し、**本区独自**に助成を実施します。(国補助との併用可)
☑定額支給25万円にすることで、約10万円の実質的な助成額上乘せ (これまでの平均助成額は約15万円)
☑リースやサブスクリプション利用者も対象者に追加

その他、遮熱塗装等断熱改修の助成の拡充を図ります。

デジタル技術を活用した取組の推進

区では現在、先駆的に導入しているノーコードツールや業務自動化ツールなどのデジタル技術を活用し、様々な手続のオンライン化や内部業務の効率化を図っています。特に、区民の皆さまに身近な窓口手数料などのキャッシュレス決済の拡大や、LINEの活用による情報発信の充実など、新たなサービスも導入しながらデジタル化の取組を進めております。

来年度は、こうしたデジタルツールも活用しながら、戸籍関係の証明書の発行や子育てなどの手続のオンライン化にも集中的に取り組むなど、デジタル技術を効果的に活用した区民サービスの向上及び行政運営の更なる効率化に取り組めます。

主な新規・拡大事業など	内容
<p>デジタル推進支援業務委託 (1,899万円)</p> <p>窓口での手続が多い 戸籍や住民異動関係の届出事務や、 オンラインのニーズが高い 子育て関係の手続事務などを 中心に進めます！ ※令和4年は11月末時点で 約380（累計）の手続を オンライン化しました。</p>	<p>下記の業務を中心に手続のオンライン化や業務のデジタル化を推進します。</p> <div data-bbox="555 721 1931 1016"><p>戸籍・住民異動 関連業務</p><ul style="list-style-type: none">● 戸籍関係証明書取得手続き など<p>子育て関連業務</p><ul style="list-style-type: none">● 保育施設の利用申込 ● 保育施設等の現況届 など<p>保健所関連業務</p><ul style="list-style-type: none">● カルテ類の電子化 ● 検診業務 など<p>学校関連業務</p><ul style="list-style-type: none">● 保護者が行う各種手続 申請業務 など</div>
<p>OCR（帳簿読み取りシステム） RPA（業務自動化ツール） の入替 (3,042万円)</p>	<p>平成29年度からOCR、平成30年度からRPAを業務に導入し、データ入力など定型業務の効率化に取り組んできました。近年の技術革新の動向も踏まえ、より利便性の高いツールを導入し、定型業務の省力化による業務の効率化をさらに進めていきます。</p>
<p>区民貸出施設における オンライン環境の提供 (76万円)</p>	<p>会議室等の貸出を行っている31施設において、様々なオンラインを活用した活動が円滑に行えるよう、会議室の利用に合わせてモバイルルータの貸出を行います。</p>

総合庁舎移転の準備を進めます！

SDGs社会
の実現へ！

令和4年第4回区議会定例会において「葛飾区役所の位置を定める条例」を制定する議案が可決され、区役所が京成立石駅北口地区の東棟へ移転することが正式に決定しました。移転により、新たなサービス拠点、災害対策拠点として生まれ変わります。令和5年度は、新庁舎における窓口サービスの在り方や執務環境整備、文書・物品管理等の検討に着手します。また、総合庁舎整備基金(10億円)を引き続き計画的に積み立てていきます。

【総合庁舎移転について】
総合庁舎推進担当課
総合庁舎技術担当課
【立石周辺街づくりについて】
立石駅北街づくり担当課

予算額 1,082百万円

便利で快適な区民サービス

- (仮称) 区民総合窓口を設置
- 喫茶コーナー、キッズスペース、授乳室、区政紹介スペースなどを設置
- 誰にでも分かりやすい案内やサインを整備



△区民総合窓口
(イメージ)



△キッズスペース
(イメージ)

地球温暖化対策のモデルとなる庁舎

- 省エネルギー技術や再生可能エネルギーの利用を促進

現在の総合庁舎がある位置から南へ約500mの京成立石駅前が、立石駅北口地区市街地再開発事業の施行区域です。この事業で東棟が完成する令和10年度頃に、区役所が移転します。

防災機能の強化

- 一般的な建物の1.5倍に相当する耐震安全性を確保
- ライフライン途絶時も、電力・通信・水を確保 (7日間程度)
- 災害対策関連諸室を9階に集約配置
⇒災害対策本部が十分に機能するスペースを確保

震度7程度の巨大地震が発生しても
災害対策の司令塔として機能！



△災害対策本部
(イメージ)



△外観パース

場所	東京都葛飾区立石七丁目1番1号
構造	鉄筋コンクリート造 (3階床下中間層免震)
階数	地上13階、地下3階、塔屋2階

今後の立石の街づくりでは、「下町立石らしい にぎわいと活気のある街」をめざし、再開発地区の周辺地域や、鉄道立体化に伴う高架下なども含めた、一体的な街づくりを推進していきます！